



編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)

鹿屋体育大学サッカー部から、2023シーズンJリーグへの加入が2名内定しました。
鹿屋ユナイテッドFC（鹿児島U、J3）に内定したのは、抜群のテクニクとゲームコントロールが魅力の山口卓己さん（大分高等学校・大分）です。山口さんは長崎県大村市の出身ですが、小学生時代を鹿屋市で過ごし、西原台小サッカースポーツ少年団にも所属していました。本学入学後は2019年のアジア大学サッカートーナメント優勝& MVP、U19全日本大学選抜、2020年から2022年には九州大学選抜、2019年から2021年には国体鹿児島県代表に選ばれたなど輝かしい実績を残しています。山口さんは日本サッカー協会より「JFA・Jリーグ特別指定選手」として認定されたことにより、今シーズン、サッカー部に所属しながら鹿児島Uの公式戦にも出場可能となりました。

今回の内定について山口さんは「小学校6年間と大学4年間を過ごした鹿児島で、幼いころからの夢であったプロサッカー選手というキャリアをスタートできるとを大変うれしく思っております。この結果は何となくサッカーに向き合える環境を整えてくれた両親、そしてたくさんの方々の支えのおかげだと思います。感謝の気持ちを忘れず、鹿児島ユナイテッドFCの勝利に貢献できるように、全力を尽くします」と抱負を述べました。

来春 2名 リーグに 加入 内定!



鹿屋ユナイテッドFC

山口卓己さん

(スポーツ総合課程4年)



ロアソン熊本

宮崎海斗さん

(スポーツ総合課程4年)

【揃川勝行監督のコメント】
山口君、宮崎君、共に1年生の時から試合に出て活躍してきた選手です。山口君はテクニクがあってサッカーIQが高く、試合中の指示は彼に出せば大丈夫、というくらいチーム全体をコントロールしてくれる存在です。宮崎君は上級生になり力強さや精神的な強さも生まれてきたので、これから益々期待できる選手に成長すると思います。最初が大事なので、卒業後は二人とも1年目からチームの試合に出て活躍してほしい。その力は十分あると思います。

ンスカに加え、安定したビルドアップや正確なロングボールが魅力の選手です。個人としても2019年のU19全日本大学選抜でアジア大学サッカートーナメント優勝、2020年から2022年には九州大学選抜、2019年から2021年には国体鹿児島県代表に選ばれたなど数々の実績を残しています。
今回の内定について宮崎さんは「プロサッカー選手としてのキャリアを大好きなロアソン熊本でスタートできることを大変うれしく思います。1日も早く試合に出て勝利に貢献し、チームがJ1へ昇格できるように頑張りたいと思います。サッカー部では「日本一」という目標を掲げて日々練習に取り組んでいます。応援してくださる皆さんのためにチーム一丸となって全力で頑張りますので、引き続き鹿屋体育大学サッカー部の応援をよろしくお願いします」と感謝の言葉に加え、残りシーズンでの奮起を誓いました。
本学からのJリーガー輩出は45人となりました。

観測史上4番目の強さの台風14号が鹿児島県に上陸した。鹿児島県では12万戸、鹿屋市では3万戸を超える数の世帯が停電となり、日常生活に大きな支障をもたらした。また、学内においても駐輪場の屋根が吹き飛び、研究棟の窓ガラスが割れ、天井が剥がれ落ち、大木が倒壊し、多くの施設で被害が出た▼翌日、復旧作業が行われる中、教職員に加え学生らが自ら進んで作業にあたる光景を目の当たりにした。自分たちの校舎・競技場であるため当然なことなのかもしれないが、そういった学生たちの姿にはいつも感心させられる▼専門教育機関に身を置く本学学生として、体育・スポーツの専門知識を習得し、表現する力を体得することは必須である。しかし、それだけでなく今回のような経験を通過して学生たちが何かを感じ、学びを得ることは極めて重要だと考える▼私自身、大学部活動の主宰として、災害時に大学職員の方とのやり取りを通して、施設面など競技を支えている人の多さに改めて気づかされた経験がある。そのことから、大学生は高校生と異なり、競技をするだけでなく競技の環境を作るプロセスを経験し学ぶ必要があると考えている。本学の学生には、体育・スポーツの専門知識だけでなく、競技や学びに関わる多くの物事に目を向けて、広い視野で自身の競技に向き合ってもらいたい。(F・M)

わかくさ 観測史上4番目の強さの台風14号が鹿児島県に上陸した。鹿児島県では12万戸、鹿屋市では3万戸を超える数の世帯が停電となり、日常生活に大きな支障をもたらした。また、学内においても駐輪場の屋根が吹き飛び、研究棟の窓ガラスが割れ、天井が剥がれ落ち、大木が倒壊し、多くの施設で被害が出た▼翌日、復旧作業が行われる中、教職員に加え学生らが自ら進んで作業にあたる光景を目の当たりにした。自分たちの校舎・競技場であるため当然なことなのかもしれないが、そういった学生たちの姿にはいつも感心させられる▼専門教育機関に身を置く本学学生として、体育・スポーツの専門知識を習得し、表現する力を体得することは必須である。しかし、それだけでなく今回のような経験を通過して学生たちが何かを感じ、学びを得ることは極めて重要だと考える▼私自身、大学部活動の主宰として、災害時に大学職員の方とのやり取りを通して、施設面など競技を支えている人の多さに改めて気づかされた経験がある。そのことから、大学生は高校生と異なり、競技をするだけでなく競技の環境を作るプロセスを経験し学ぶ必要があると考えている。本学の学生には、体育・スポーツの専門知識だけでなく、競技や学びに関わる多くの物事に目を向けて、広い視野で自身の競技に向き合ってもらいたい。(F・M)



ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

子どもの頃からスポーツをしてきた者にとっ
て、プロは憧れの存在
だ。2013年に鹿屋体
育大学を卒業した柁田
祐介さんは、BJリーグ
とBリーグで9年間にわ
たってプロ選手として活
躍してきた。京都ハンナ
リーズ、福島ファイヤー
ボンズ、岩手ビッグブル
ズ、東京サンレーヴスな
どに所属し、今年の春、
シーズン終了後に引退を
決意した。ディフェンス
ガードのポジションで、
以前に骨折してポルトが
入っている右手中指骨を
再び骨折してしまったこ
とが引退を決断させた
と言う。身長184セン
チでシューティングガー
ドというポジションゆえ
に、体格の大きな外人
のシュートをガードする
のは怪我と隣り合わせの
ハードな役割だった。
インターハイ3年連続



バスケの 楽しさを伝授!

岩手ビッグブルズ
アカデミーコーチ

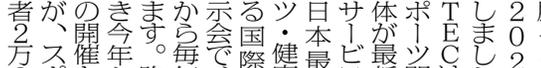
26期生
柁田 祐介さん

【Profile】

ますだ・ゆうすけ。1990年5月16日生まれ。広島県呉市出身。県立広島皆実高等学校卒業。2009年鹿屋体育大学入学。京都ハンナリーズ、福島ファイヤーボンズ、岩手ビッグブルズ、東京サンレーヴス、しながわシティを経て2022年春現役引退。現在、岩手ビッグブルズ職員アカデミーコーチ。

出場を果たした県立広
島皆実高校を卒業後、鹿
屋を選んだのは、教員に
なりたいという思いが強
かったこと、両親が国
立の大学を望んだこと、
さらには東京の大学に進
む勇気がなかったからだ
という。遊ぶところもな
い環境の中、ただひたす
らボールを追う生活で、
インカレにも4年連続出
場を果たしている。振り
返って、大学の授業で印
象に残っているのは木葉
一総准教授の「審判から
見たバスケットボール」
だそう。それまで自分
の主観しか考えてこな
かったプレーを客観的に
みられるようになり、バ
スケットボールを多面的
に考えられるようになった。
「当時は根拠のない
自信にあふれていたん
ですよ」という柁田さん
は、4年生になって就職
活動をするころもなく、

プロの道を選ぶ。広島の
両親は大反対だった。
卒業した年にBJリー
グの京都ハンナリーズ
から指名を受けて入団
するものの、出番は少な
かった。現在Bリーグで
は試合に出場できる外
国人選手は2人だが、当
時は3人まで出場でき
た。高校、大学と自由自
在に動き回ってきた華や
かなシューティングガー
ドの役割は、プロになっ
て要求されるものがら
りと変わった。監督から
は、「シュートは外国人
に集中してほしい」と言
われた。求められる役割
の分担、まさにプロの洗
練だった。自分の中で感
じたギャップは少なくな
かったという。戸惑いな
かった初シーズンは16試
合の出番は、翌シーズ
ンには47試合と格段に増
えた。このあたりに柁田



宮嶋 泰子

7月27・29日の3
日間、鹿屋体育大学は
開催された日本最
大のスポーツ・健
康まちづくり総合
展「SPORTEC
2022」に出展
しました。SPOR
TECは世界中のス
ポーツ関係企業・団
体が最新製品・技術・
サービスを発表する
日本最大のスポー
ツ・健康産業に関す
る国際的な総合展
示会で、2009年
から毎年開催してい
ます。昨年に引き続
き今年もコロナ禍で
の開催となりました
が、スポーツ業界関係
者2万9182人が全

第61回全日本学生なぎなた選手権大会



賞状を手に、安次嶺さんと村田さん

「SPORTEC-2022」無事終了!

国より来場し、熱心な情
報交換が行われました。
国立大学唯一の体育大
学として初回から継続し
てブースを出展し続けて
いる本学ですが、今年
は前田明理事・副学長がS
PORTEC実行委員会
の副委員長を務めました。
7月21日のプレセミナー
における本学教員によ
るパネルディスカッシ
ョンに始まり、初日27日
のスポーツアカデミック
フォーラムのオープニ
ングセッションには金久博
昭学長らがオンラインで
出演。最終日の29日も「地
域課題の解決に向けた運
動・スポーツによる地域
健康増進KANOPYAモ
デルの試み」を題材にセ
ミナーを開催しました。

が第3位、団体の部で準
優勝の好成績を残しまし
た。安次嶺さんは「初め
て組んだ演技ペアとい
うこともあり、毎日2人
頭を悩ませながら稽古に
励んできました。悩んだ
ときにはチームメイトが
アドバイスをくれたり、
OGの先輩方や先生方に
ご指導いただき優勝す
ることができました。チ
ーム全員でつかみ取った優
勝を非常にうれしく思っ
ております」、村田さん
は「優勝することができ
てもうれしく思いま
す。今回の結果は、これ
まで指導してくださった
先生方、先輩方、チ
ーム全員の支えがあり、取
ることができたと思いま
す。今回の結果に満足す
ることなく、さらに稽古
に励みたいと思います」
とそれぞれ優勝の喜びの
コメントを寄せてくれま
した。

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う
運転免許のことなら

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

Kubota 農業機械
株式会社
三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質保全に
全力投球

株式会社
西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

心にしみる...

鹿児島焼酎
小鹿

小島酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市各平町上名7312番地
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363
http://www.shochu-kojika.jp

お酒は20歳を過ぎてから。

「2022年文部科学大臣杯 第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会」(自転車インカレ)が9月1日に開幕し、1日3日のトラック・レースは鹿児島県根占自転車競技場、4日のロード・レースは鹿児島県錦江町および南大隅町の特設周回コースで行われました。

大会2日目に終わった3人1組で速さを競った女子チームスプリントでは、鹿屋体育大学の成海綾香さん(スポーツ総合課程4年、南大隅高等学校・鹿児島)、中西美央さん(同2年、岡山高等学校・岡山)、年見穂風さん(同1年、都城工業高等学校・宮崎)のチームがライバルの日本体育大学を1000分の1秒差で制し、1分11秒045の日本学生新記録、大会新記録を出して優勝しました。

3日目に行われた2人1組で333mのトラックを90周走る男子マディソンでは主将の



同じくロード・レースを走る成海さん。来年のがこしま国体での活躍も楽しみです



4日のロード・レースを走る古谷田さん。古谷田さんは「第77回国民体育大会」の自転車競技成年男子スクラッチにおいて、見事優勝に輝きました。来年のがこしま国体も期待されます

古谷田貴斗さん(同4年、南大隅高等学校・鹿児島)と伊澤将也さん(同3年、横浜高等学校・神奈川県)のペアが半周差を逆転し、この種目では本学史上初の優勝を決めました。地元大隅での開催は10年ぶりで、4日間の競技の順位を

香さん3位、男子チームスプリント2位、男子タデムスプリント2位、女子マディソン2位、トラックに出場した男子は全員が入賞という快挙で、表彰台には連日鹿屋体育大学の学生の姿がありました。

4日間の大会を振り返り山口大監督は「一地元開催だから緊張するのではなく、楽しくゴール線まで走ろうね、というのを大会期間中の合言葉にしていたので、それに応える形で学生全員が闘ってくれて今回の成績が収められたと思います。大会に出場した選手だけでなく、補欠の選手やスタッフ全員が一丸となって選手をサポートしてくれました。2016年には男女ともに総合優勝を果たした実績を持つ鹿屋体育大学。4年生の想いは後輩たちに引き継がれ、早くも来年の大会の総合優勝に向けて動き出しています。

優勝!!

女子チームスプリント

日本学生新記録。大会新で

第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

女子総合は2位。表彰台に立つ成海さん

本学の海洋スポーツセンターにおいて「第30回記念大会学長杯オープンヨットレース」が開催され、九州各地から29名が参加しました。今年で30回を数える歴史ある学長杯ですが、新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となり、主催者としては感慨深いものとなりました。

開会式では初めに金久博昭学長が「小生から78歳の方まで幅広い年齢層の参加者の皆さんと、運営に携わるスタッフの方々のお陰で、第30回の学長杯ヨットレースを開催できることに感謝します。何より体調に気を付けて楽しんでください。

当日は白波の見えない「凪」状態で、第1レース開始時はヨットレースとしては物足りない微風でしたが、第2レース時には風向きが定まらないう「振れる」状態となり、「風を読んで」競うヨットレースとしてはその手腕が試されることも面白いコンディションになる中、OP級Aクラス、シングルハンドAクラス、同Bクラス、ウインドサーフィンクラスの4種目29艇はそれぞれ帆を懸命に操り競い合っていました。

閉会式では榮樂洋光大会レース委員長(海洋スポーツセンター副センター長)から無事に終了したお礼と、レースの面白みに大きく影響する目標F1の設置など運営役員として携わった学生へのねぎらいの言葉が述べられ、引き続き中村夏実海洋スポーツセンター長による表彰状授与が行われました。借しくも入賞できなかった参加者もレースを満喫した表情で、次の大会での再会を口にしつつ帰路につきました。



第30回記念大会 学長杯 オープンヨットレースを開催

課外活動 団体紹介

女子バレーボール部

女子バレーボール部は、監督の濱田幸二先生、コーチの坂中美郷先生、戦術コーチの沼田薫樹先生、トレーナーの美坂さんのもと4年生8人、3年生6人、2年生5人、1年生8人の計27名で活動しています。

私たちは「日本一」をチームの目標として掲げ、学年の壁を越えてお互いにアドバイスしたり、きついときこそ鼓舞しあひながら毎日の練習・トレーニングに励んでいます。今年度のチームのテーマが「創造」であることから、

バレーボールに関わらず、常に考え生み出すことを意識してチームとしても個人としても取り組んでいます。

27名もの部員がいれば、個性豊かで元気が有り余っている人たちがばかりですが、その分、プレースタイルや価値観も様々のため、全員が良きライバルとして刺激し合い、常に高みを目指して頑張っています。11月末には「全日本インカレ」を控えています。目標である、「日本一」のために走っていく道はまだまだ険しく長いですが、うれしいときも辛いときも共に乗り越えてバレーをしてきた仲間たちと勝利を掴み取りたいです。

Twitterやブログで結果等を更新しておりますので、ぜひチェックしてみてください！

これからも鹿屋体育大学女子バレーボール部の応援をよろしくお願いいたします！

物の入りの人

9月1日より着任した山下龍一郎と申します。主に体操競技、器械運動関連の授業科目を担当することになります。

これら2つ以外にはスポーツ運動学を専門としています。スポーツ運動学は人間の感覚、意識(いわゆる無意識を含む)などを説明しようとするものです。体操競技以外の種目関係者にも役立つ内容が含まれているかと思います。

課外活動においては体操競技部の部長兼コーチに就任しました。鹿屋の体操競技部は私自身を含め、体操人であれば憧れを抱く組織の一つだと思っています。それは競技力が高いだけでなく人間性を兼ね備えた人材を輩出しているからだと考えています。こうした鹿屋の良い面については継続していきけるよう努めてまいります。

と思います。難解な用語や理論も少なくありませんが、私自身さらに理解を深め、研究はもちろんのこと、教育実践やクラブ指導に役立てていきたいと考えています。

山下 龍一郎
スポーツ・武道実践科学系
やました りゅういちろう
山下 龍一郎

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に特化する
株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>
E-mail kan@shinsei-p.co.jp

あなたの町に、レモンガス

株式会社**レモンガス**かこしま鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

まっすぐに。正直に。

たいかい **大波酒造株式会社** 大波

〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

- 飲酒は20歳になってから。
- 飲酒は楽しく、適量を。
- 妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
- 飲酒運転は法律で禁止されています。

すべての消費者のために!!

MOVE
It's your future
寿スポーツ
鹿屋市新川町603-2
TEL 0994-44-2123

闘いの記録 8月~10月

【陸上競技部】

■第76回中国五県陸上競技対抗選手権大会 (8/20~21 岡山/岡山県陸上競技場)

▽女子 円盤投 1位 廣井 楓

■天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 (9/9~11 京都/たけびしスタジアム京都)

▽男子 走幅跳 5位 葛西 伊吹
三段跳 8位 水野 皓太
砲丸投 7位 池田 大晟
やり投 3位 平松 委穂里

【テニス部】

■令和4年度九州学生夏季テニス選手権大会 (8/18~29 福岡/グロ-バルアリーナ他)

▽男子 シングルス 1位 狩行 紀希
ダブルス 1位 狩行 田中
▽女子 シングルス 1位 木庭 千紘
ダブルス 1位 木庭 山本

■令和4年度全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区予選 (9/8~14 鹿児島/鴨池運動公園テニスコート)

▽女子 1位 鹿屋体育大学

【体操競技部】

■第76回全日本学生体操競技選手権大会 (8/21~22 三重/四日市市総合体育館)

▽男子 団体総合 4位 鹿屋体育大学
種目別あん馬 2位 津村 涼太
種目別つり輪 1位 金田 希一
種目別跳馬 5位 上山 廉太郎
種目別平行棒 3位 長谷川 毅
種目別鉄棒 5位 長谷川 毅

■第55回全日本シニア体操競技選手権大会 (9/17~19 東京/アリーナ立川立飛)

▽男子 個人総合 1位 杉野 正亮
種目別ゆか 4位 杉野 正亮
種目別あん馬 3位 杉野 正亮
種目別跳馬 5位 杉野 正亮
種目別平行棒 6位 杉野 正亮
種目別鉄棒 1位 杉野 正亮

■2022FIG種目別チャレンジカップ・パリ大会 (9/24~25 フランス/パリ)

▽男子 ゆか 4位 津村 涼太
6位 金田 希一
あん馬 6位 津村 涼太
つり輪 7位 津村 涼太
19位 金田 希一
平行棒 4位 金田 希一

【水泳部】

■第69回全国公立大学選手権水泳競技大会 (8/10~12 石川/金沢プール)

▽男子	総合成績	2位	鹿屋体育大学
	50m自由形	3位	田中 一光
	100m自由形	2位	田中 一光
	200m自由形	8位	坂本 春空
	400m自由形	1位	水上 瑠日
	100m背泳ぎ	5位	野田 京聖
	200m背泳ぎ	2位	中園 剛志
	100m平泳ぎ	2位	榎田 大己
	200m平泳ぎ	5位	直江 篤樹
	100mバタフライ	4位	前原 優真
	200mバタフライ	2位	前原 優真
	200m個人メドレー	2位	杉浦 涼一
	400m個人メドレー	1位	堀内 健裕
	4x100mフリーリレー	2位	田中、坂本、岩切、水上
	4x200mフリーリレー	1位	田中、坂本、岩切、水上
	4x100mメドレーリレー	2位	中園、榎田、前原、田中
▽女子	総合成績	2位	鹿屋体育大学
	50m自由形	2位	久保田 梨琉
	100m自由形	1位	久保田 梨琉
	200m自由形	4位	津隈 由子
	400m自由形	1位	端野 咲紀
	100m平泳ぎ	5位	黒田 絢子
	100mバタフライ	2位	後野 真衣
	200mバタフライ	1位	後野 真衣
	200m個人メドレー	2位	有村 咲希
	400m個人メドレー	3位	岡 莉子

4x50mフリーリレー	2位	仲田、久保田、有村、伊藤
4x100mフリーリレー	2位	津隈、久保田、後野、有村
4x100mメドレーリレー	2位	吉原、黒田、仲田、久保田
■第98回日本学生選手権水泳競技大会 (8/28~31 東京/東京辰巳国際水泳場)		
▽女子 100m自由形	6位	久保田 梨琉
	200mバタフライ	6位 後野 真衣
	4x200mフリーリレー	8位 端野、津隈、後野、岡

【柔道部】

■2022年度九州学生柔道体別選手権大会 (男子65回 女子35回) (8/27~28 福岡/福岡武道館)

▽男子 60kg級 1位 吉本 聖那
66kg級 1位 山口 愛斗
81kg級 1位 山口 良太
100kg級 1位 尾上 進介
100kg超級 1位 野田 隆世
▽女子 48kg級 1位 城戸 鼓夢

■2022年度全日本ジュニア柔道体別選手権大会 (9/10~11 埼玉/埼玉県立武道館)

▽男子 90kg級 7位 中川 晃希
▽女子 48kg級 7位 原田 菜々子

■2022年度全国国立大学柔道優勝大会 (9/17~19 東京/講道館)

▽男子 2位 鹿屋体育大学
▽女子 70kg級 ベスト8 尾瀨 和希

【剣道部】

■第61回全日本女子剣道選手権大会 (9/4 奈良/ジェイテクトアリーナ奈良)

▽女子 2位 妹尾 舞香

■第69回全九州学生剣道大会/第45回全九州女子学生剣道大会 (9/10 福岡/粕屋町総合体育館)

▽男子 1位 鹿屋体育大学
▽女子 1位 鹿屋体育大学

【ヨット部】

■全日本470級ヨット選手権大会2022 (8/16~21 佐賀/佐賀県ヨットハーバー)

470級 8位 北 修紋 *他団体との出場

■2022年全国学生シングルハンドレガッタ (9/1~4 愛知/海陽ヨットハーバー)

レーザ-ラジアル級 2位 四枝 翔生

【漕艇部】

■第49回全日本大学選手権大会 (9/7~11 埼玉/戸田ボートコース)

▽女子 シングルスカル 3位 黒木 秀里

【自転車競技部】

■文部科学大臣杯第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (9/1~4 鹿児島/根占自転車競技場、錦江町・南大隅町特設コース)

▽男子	総合成績	4位	鹿屋体育大学
	スプリント	7位	新垣 慶晃
	1kmタイムトライアル	5位	伊澤 将也
	4kmインディビジュアルパーシュート	8位	高良 柊也
	オムニアム	6位	津留 峻
	マディソン	4位	古谷田 貴斗
	タンデムスプリント	1位	古谷田、伊澤
	チームパーシュート	2位	下山、香西
	チームスプリント	3位	古谷田、伊澤、津留、福迫
▽女子	総合成績	2位	鹿屋体育大学
	スプリント	3位	中西 美央
	500mタイムトライアル	4位	年見 穂風
	3kmインディビジュアルパーシュート	2位	中西 美央
	ロードレース	3位	年見 穂風
	オムニアム	3位	成海 綾香
	マディソン	8位	岩元 美佳
	チームスプリント	4位	成海 綾香
	ロードレース	6位	川本 莉子
		2位	石上、成海
		1位	成海、中西、年見
		7位	成海 綾香

【カヌー部】

■第58回関西学生カヌー選手権大会 (8/8~12 兵庫/宍粟市音水湖カヌー競技場)

▽男子	総合成績	1位	鹿屋体育大学
	C-1 200m	1位	高比良 海斗
	C-1 1000m	1位	吉田 俊吾
	C-1 4x500mリレー	1位	田中、高比良、池口、吉田
	C-2 200m	1位	田中、岩永
	C-2 1000m	1位	池口、原田
	C-4 1000m	1位	吉田、池口、北崎、高比良
	K-1 200m	1位	下川 拓樹
	K-2 1000m	1位	下川、鳥越
▽女子	WK-2 500m	1位	高野、土橋

■第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会 (8/30~9/4 石川/木場湯かヌー競技場)

▽男子	総合成績	1位	鹿屋体育大学
	C-1 200m	1位	高比良 海斗
	C-1 1000m	5位	吉田 俊吾
	C-1 4x500mリレー	6位	北崎 健介
	C-2 200m	8位	久保田 桂仙
	C-2 1000m	1位	吉田 俊吾
	C-2 200m	2位	池口 黎於
	C-2 1000m	4位	高比良 海斗
	C-2 200m	1位	高比良、吉田、池口、原田
	C-2 1000m	1位	原田、池口

C-2 1000m	4位	中園、田中
	6位	佐藤、美坂
	2位	原田、池口
	3位	高比良、北崎
	5位	中園、田中
	8位	吉田、久保田
C-4 1000m	2位	池口、吉田、高比良、中園
K-1 200m	5位	下川 拓樹
K-1 1000m	2位	下川 拓樹
K-1 4x500mリレー	2位	松本、鳥越、下川、行田
K-2 200m	2位	鳥越、松本
	4位	佐々木、阿部
K-2 1000m	3位	下川、鳥越
K-4 1000m	3位	松本、鳥越、行田、阿部
▽女子 WK-1 500m	5位	高野 真緒
	8位	土橋 菱花
	5位	高野、土橋
	4位	高野、土橋

■2022ICFジュニア・U23カヌースプリント世界選手権大会 (8/31~9/4 ハンガリー/セグド)

▽男子 U23 C-2 500m 16位 田中、岩永

■2022アジア・パシフィック・カヌースプリント大会 (9/29~10/2 石川/木場湯かヌー競技場)

▽男子	U21 K-1 500m	5位	松本 仁心
	U21 K-1 1000m	9位	松本 仁心
	U21 K-4 500m	3位	松本 仁心
	U21 K-4 1000m	3位	松本 仁心
	U21 K-4 500m	3位	松本 仁心
	U21 K-4 1000m	3位	松本 仁心
▽混成	Megaリレー 200m	3位	松本 仁心

【ウインドサーフィン部】

■2022年度全日本ボードセーリング選手権九州支部予選 (9/23~24 福岡/福岡海岸クロスオン)

▽女子 1位 岡 知里



総合優勝!

第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会
カヌー部男子が4年ぶりに

8月30日~9月4日にかけて開催された「第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会」において、本学カヌー部が4年振りに男子総合優勝を達成しました。また、男子カヌー部門MVPに下川拓樹さん(スポーツ総合課程4年、三瀬高等学校・福岡)、男子カヌー部門MVPに高比良海斗さん(同4年、長崎鶴洋高等学校・長崎)が選ばれました。



本学体操競技部と一般社団法人徳洲会体操クラブがパートナーシップ契約を締結

鹿屋体育大学体操競技部と一般社団法人徳洲会体操クラブが、このほどパートナーシップ契約を締結しました。契約期間は令和5年4月1日から令和6年3月31日の1年間(更新あり)です。契約内容は①徳洲会体操クラブが企画する合宿に鹿屋体育大学体操競技部を招待する費用の補助を受ける②徳洲会体操クラブによるメンタルトレーニングの支援を鹿屋体育大学体操競技部員も受けることが可能となる③双方の広報活動を協力して行う④選手や体操教室の人材採用の協力を、の主に4項目で、優秀な人材の育成と確保、長期的な競技力の強化にさらに取り組むことが可能となり、双方の組織のさらなる飛躍・繁栄を目指すことを目的としています。

鹿屋体育大学ではこの「蒼天」や公式ウェブサイト、その他SNS等を通して広く皆様へ本学の活動情報をお知らせしております。ご覧になってのご意見、その他鹿屋体育大学の教育研究活動等へのご意見がございましたら、今後の運営・活動の参考にさせていただきますのでぜひお寄せください。ご意見・アンケートは以下二次元コードからweb入力できます。



鹿屋体育大学へのご意見をお寄せください。

